



5年ぶりにボランティア学生派遣再開！

コロナ禍で学生の海外派遣活動は中断されてきました。しかし、ようやく規制が解け、今年から正常な活動に戻った次第です。

この間、RASA-Japan(以下RASA)の関係で大きく変化した大学があります。それは椋山女学園大学です。これまで私どもRASAと海外ボランティア活動を積極的に推進してこられましたが、当時の「国際コミュニケーション学部」が「外国語学部」に組織変更されました。当時のRASA窓口を担当されていた国際コミュニケーション学部の教授は、組織替えと同時に定年1年を残し早期退職をされてしまったのです。

もっと深刻な問題が発生したのが「南山大学」です。学内の有志団体コアグループを支援する団体として、RASAは貴重な存在でした。ただし、現役在校生の組織(最低5名)が必要ですが、コロナで活動が中断している間に在校生全員は卒業してしまったのです。コロナ解禁に伴い、学生のボランティア募集は、メインの両大学での活動が閉ざされた状態になってしまいました。

この窮状を素早くみ取ってくださった方がいました。南山大学の教授として教鞭をとられる傍ら、神言会で主任司祭として活躍されているドミンゴス神父さんです。彼はシーランド神父の後任としてRASAの顧問として種々アドバイスをいただいている方です。南山大学のRASAの海外ボランティア活動を違った角度から救済されました。

RASAの応募状況は上々だと思います。ボランティア派遣定員15人は申込締切日12月20日を待たず、達することができそうです。関係部署と協議中のことですが、申込締切日までに参加申込があった場合全員が参加できるようにしたいと努力いたします。
(理事 藤井典夫)



2018年 StudyTourの様子

【Study Tour 2025】の概略

「StudyTour」では、活動の中心を給食支援から食品配付支援に変更しました。配付作業や支援対象児童宅への訪問を通じて、支援の必要性を実感していただきます。

また、現地の小学校では日本語の授業に加え、栄養、健康、衛生に関する授業も予定しています。授業内容は、現地の実情を把握しながら、ボランティア参加者の皆様と現地で話し合いながら決定します。

さらに、1人1家庭でホームステイを通じて、活動や異文化交流を体験し、新たな視野を広げ、多くの気づきを得られる貴重な体験となります。

次号で詳細な活動報告をお届けしますので、お楽しみにしてください。



活動日程：2025年2月20日～3月4日(13日間)

- 活動内容：①配付食品の準備と配付作業、支援対象児童宅訪問
②現地小学校での日本語授業
③1人1家庭でのホームステイ等

ボランティア体験談

「私の第二の故郷 フィリピン」

2018年参加
森 和穂

もう一度フィリピンの家族に会いたい！
コロナウイルスの流行もあり、実現できなかったこの夢が今年叶いました。

私が初めてフィリピンを訪れたのは6年前。バケツで水をすくって流す手動式のトイレや、トライシクルやジープニーなど見たことのない乗り物の排気ガスの匂い、高層ビルの反対側には今にも倒れそうな家など衝撃の連続。自分がいかに恵まれた環境で、何不自由なく生活できているかを痛感しました。そこの暮らしは日本と比べると貧しいですが、人々の心は温かく、誰に対しても優しく親切に接し助け合って生きる姿や、人との繋がりを大切に笑顔絶やさない生き方に感銘を受けました。本当の豊かさとは・幸せとは何かを考えるきっかけとなりました。

帰国後もホストファミリーとはメッセージや写真を送り合い、私にとって大切な家族となりました。今回は一緒にタガイタイへ行き、綺麗な景色の前で楽しく会話しながら食事を共にし、ゆったりとした温かく幸せな時間を噛み締めました。



私たちが生きているこの世界は「愛」で繋がっていると思います。たとえ住む場所や言語、文化や環境が違ったとしても、RASAを通して大切な人に出会えたことは、私のかげがえのない宝物です。

ボランティアに参加して

2020年参加
山岡 真緒



ボランティアをするなかで印象に残ったことは、現地の方々暮らしです。

ものは決して豊かではありませんでしたが、外を歩けば子どもたちの元気な声やカラオケの歌声が絶えず聞こえたりと、何気ない日々の暮らしがとても充実していて、豊かさとは何かを考えさせられる場面も多かったです。

また、ボランティア活動以外にもスモーキーマウンテンを訪れ、そこでいろいろなお話を伺いました。普段の自身の生活からは想像のつかない日々を送ることができ、改めて自分を見つめる良い機会となりました。

また、帰国後もホストファミリーや現地で知り合った方々と定期的に連絡をとっており、昨年3月にはフィリピンへ再訪問し、ホストファミリーや現地の友人と楽しく貴重な時間を過ごすことができました。ボランティアが終わった後もフィリピンとの繋がりを持つことができ、とても嬉しく思います。

【StudyTour2025】応募動機

来年のボランティア活動応募者の中から、参加動機をご紹介します。

自分の視野を広げたい。高校で世界について学んだ時、ある大学生が児童労働をしている子供たちのためにプロジェクトを立ち上げたのを知った。私は海外について、ポジティブな面、ネガティブな面をもっと知りたいと思った。今回の活動先は児童労働

に関するものでないが、何か子供たちの助けになる活動ができる可能性があると思い、実際に自分が足を運び、世界には様々な人がいるということを知りたいと思い応募した。多文化共生に興味がある。

日本という恵まれた国で育って、何か人の役に立ちたいと思い参加する。

(南山大学 2年生)

フィリピン出張報告

出張者： 藤井理事長、後藤理事
期 間： 11月11日～15日
訪問先： ラグナ州カブヤオ市 サウスビル I 小学校
RASA 現地支所 デニス氏同席

訪問目的： 当校での食品配付とボランティア活動
での授業実施の協力依頼

11日 9:00 事務所を車で出発
10:30 中部国際空港セントレア ターミナル2
からセブパシフィック航空で出発
以降現地時間
17:00 マニラ空港 ターミナル3に到着
デニス氏ファミリーが出迎えてくれる
21:30 宿泊先RASAの現地支所に到着
ホストファミリー候補数人が出迎えてくれる
文具が買えないサウスビル I 小学校
児童のため、カトリック平針教会信徒
から寄付で頂いた多種文房具
約50kgを持参
12月食品配付時にクリスマスプレゼントとして、学校に配布依頼



鉛筆やクレヨン、ノート等のたくさんの文房具

12日 10:00～13:00
サウスビル I 小学校にて打ち合わせ
出席者：校長、コーディネーター含め5人

校長から先ず、食品配付実施のお礼と感謝の言葉をいただき、そして「この支援を何とか継続してほしい」と強い要望を受ける

- ・2025年2～3月のStudyTourボランティア活動の協力依頼
- ・ボランティアの校内滞在場所の確保
- ・活動内容確認—登校 8:00、下校 16:00
ホストファミリーに伝え、協力を得ること

- ・授業カリキュラムでのボランティア授業の組み込み
- ・ボランティアによる授業は6年生20クラスを4グループで実施予定
(日本語、栄養、衛生の3科目)
- ・イクスカーションの打ち合わせ
行楽予定地—バタンガス(海が綺麗)
ボランティアと校長、先生数人、ホストファミリーから2人ずつ参加 合計約55人
- ・在校生5,600人の暗くて狭い条件の悪い教室の見学

13日 行楽予定地バタンガスの下見
所要時間：車で3時間
・利用施設2ヶ所の調査と海岸の視察
・当日のスケジュール 時間配分、費用等の検討
・貸切バス1台で可能か確認
・帰途交通渋滞で4.5時間かかり、19:30着
行楽予定日が土曜日で交通渋滞日に当たるため、帰途出発時間は要考慮
RASAが後日契約予定

14日 ・支所宅にてホストファミリー候補予定者6人と面談
・見学予定のカブヤオ市街の見学
19:00 支所を出発し、空港へ
21:00 マニラ空港ターミナル3到着

15日 0:30 深夜ジェットスター・アジア航空で名古屋へ出発
5:30 早朝名古屋到着
9:30 帰宅

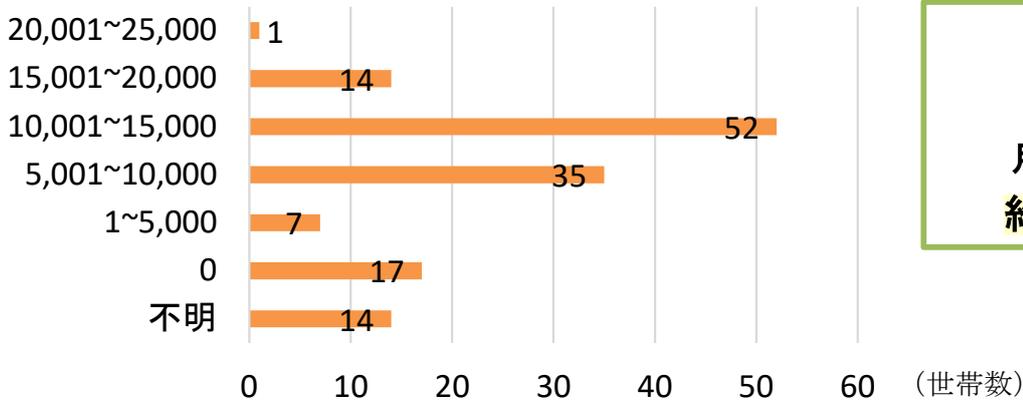
【確認事項】

- ◆ホストファミリーの選択条件
—支所のあるビレッジ内から、子供のいる家族
- ◆ホストの役割—ボランティア専用の部屋確保、
家族の一員として生活し、異文化体験する
通学の交通はホスト同士協力確保する
土日は共に過ごす→家族構成に配慮
- ◆衛生健康—安全な水の確保、氷・アイスは絶対出さないよう指導する。
- ◆ビレッジの保安—警備員が交替で警備している
- ◆病気やけがの対応先
—カブヤオ市民病院(住所、電話確認)が近く、
対応できることを確認

フィリピン 食品配付の効果

フィリピンの現在の世帯の平均月収入は40,000円ですが、大多数の低所得層の平均月収はもっと低いため、平均値を参考にはできません。食品支援家族140世帯の平均月収は約10,200円です。

支援対象140世帯の月収



配付食品1ヶ月分
約 2,000円
月収平均10,200円の
約20%に相当します

〈世帯の収入状況〉

父親の14%、母親の70%が無職
大半が不安定な日雇いや契約雇用

一般的に貧困の程度を示す指標として使用されるエンゲル係数は、この学校区では60%を超えらると思われほど、貧困度が非常に高いです。生活必需品以外に支出する余裕がほとんどない状態で、命をつないでいます。

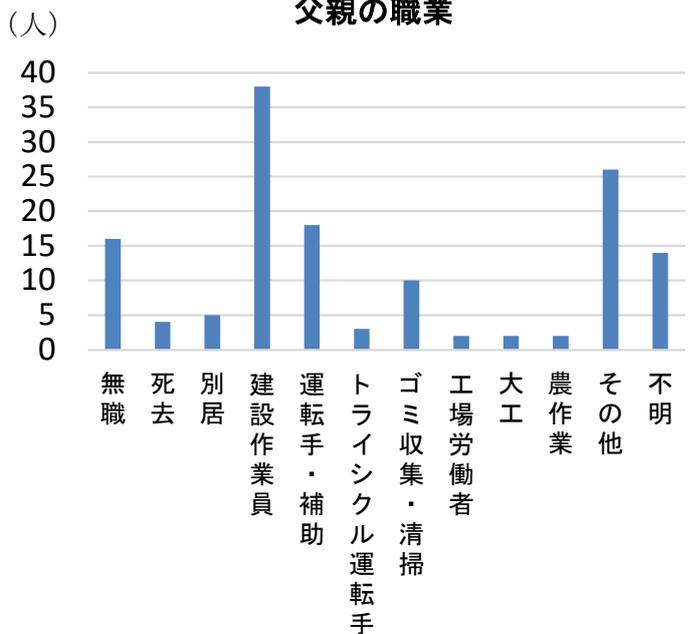
RASAは平均収入10,200円の家族に毎月2,000円分の食品を140世帯(半期毎に入替し、延べ年間280家族)の困窮家族を対象に配付しています。2021年秋から始めた食品支援ですが、継続していて、現地で本当に役立っていることがわかりました。

校長先生にお会いした際、先ず最初に両手を差し出し、「どうぞこの支援を今後も継続してください。」と強く頼まれた次第です。

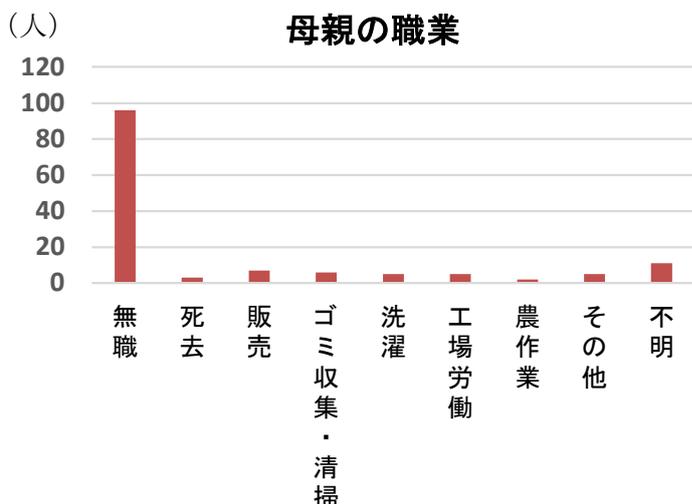
- ・親の不幸な状態=病弱、死亡、片親
- ・不安定な雇用
=田舎には産業がなく、継続的な仕事がない
- ・家族が離反して生活しなくてはならない
=都会にしか仕事がない
- ・親に基礎学力がないので、まともな仕事に就けない

これらが、不安定かつ低収入の貧困の原因のようです。

父親の職業



母親の職業



RASAの収入は寄付金が資金で、フィリピンに送金して支援活動費となっておりますが、2022年以降の約20%の円安で現地受取金額が減り、更に現地の物価高騰で配付食品に大きな影響が出ました。極貧家庭の低栄養状態の発育不全の児童への配付が大幅に減ってしまいました。(米はフィリピンでは消費の半分を輸入に頼っています)

米価が高騰しても主食の米の配付量は減らせな

いため、缶詰、卵、粉ミルク等、タンパク源やカルシウムの成長に必須の食品が購入できなくなりました。

RASAの支援を待っている児童やその家族に、何とか以前のように支援ができることを願っております。日本も諸物価高騰の折から、RASAへの寄付がかなり滞り状態にあります。

何卒皆様の温かいご支援をお願いいたします。

配付食品の価格変化(1ヶ月分)

(単位:円)

日付	米	卵	粉ミルク	缶詰	インスタントラーメン	合計	為替レート					
2022年3月	12kg	1,257	20個	245	16袋	304	12缶	541	4袋	74	2,421	2.25
2023年6月	10kg	1,145	20個	326	16袋	438	6缶	296	2袋	22	2,228	2.49
2024年1月	10kg	1,426	12個	241	9袋	256	6缶	320	2袋	46	2,289	2.62
2024年10月	10kg	1,426	12個	243	8袋	238	0缶	0	4袋	92	1,998	2.64

1回(10日間分)の配付食品数の減少(米と卵を除く)



2022年3月



2023年6月



2024年1月



1人分の粉ミルクとインスタントラーメン

2024年1月

<現地で「貢献証明書」授与>

現地で食品配付支援活動が評価され、公的機関から表彰を受けることができました。現地スタッフが表彰式で代理授与し、出張時に受け取り、持ち帰りました。毎年、支援活動を高く評価していただいています。



2023年8月14日
支援活動に
高い評価を受けた



2024年7月22日
177の団体・個人の中から、
1位の評価を受けた

<台風被害の現地の状況>

10月23日食品配付後、その夜台風が2つ襲来し、翌日まで強風。その後、別の台風が豪雨をもたらし、大きな被害が出ました。トタン屋根や壁が吹き飛び、学校に避難してきた支援対象家族は、数日間学校で生活していたとのこと。また公立、私立の全学校が3日間休校となりました。RASAの支所がある地区でも川が氾濫して、道路や住宅の清掃が非常に大変だったと聞きました。

12月も近づく台風に対する不安から、防災対策を進めていると報告がありました。



ふるさと納税でボランティアの応援をお願いします

海外ボランティアを再開するにあたり、円安や物価上昇の影響を受け、ボランティアに負担いただく「参加費」を値上げせざるを得ません。

そこで、ボランティア参加者の自己負担額軽減を目指し、なごや『ふるさとNPOセレクト』に挑戦しています。名古屋市へのふるさと納税により、ボランティアを応援(支援)します。頂いた応援を参加費の一部として使わせていただくことにより、参加者の自己負担軽減に繋がります。

海外での活動は留学を含め費用が高く、大きな壁となっています。ボランティアの皆さんが異文化交流やホームステイを通じて豊かな経験を積むことができるよう、応援をお願いいたします。

ふるさと納税で
応援をお願いします

なごや『ふるさとNPOセレクト』
がバメントクラウドファンディングに挑戦します!

ボランティア応援プロジェクト



小さな寄附で大きな一歩、
海外ボランティアをサポートしよう!

◎受付期間:2024年9月26日～12月24日まで

◎目標金額:250,000円

※ふるさと納税の返礼品はございません。

お申込みは右のQRコードからお願いします→

※制度案内 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/3303>

https://www.n-vnpo.city.Nagoya.jp/project/npo_shien_R6/

ふるさとチョイス
GCF



ご質問やご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

注) ・『ふるさとNPOセレクト』の受付は上記サイトのみとなっておりますので、ご了承ください。

・名古屋市へのふるさと納税は、名古屋市民も税控除の対象となります。

今後の活動予定

1月 18日 StudyTour2025 第1回事前研修会 場所:カトリック平針教会

2月 8日 StudyTour2025 第2回事前研修会 場所:カトリック平針教会

2月 20日～3月 4日 StudyTour2025(13日間)

会員が減少傾向です！活動を支援いただける方、法人・団体を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています



認定 特定非営利活動法人
RASA-Japan
理事長 藤井 忠子

〒468-0014 愛知県名古屋市天白区中平2-2627
TEL/FAX 052-803-1649
E-mail info@rasa-japan.com

郵便振替：口座番号 00890-4-31185
受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan
三菱UFJ銀行：平針支店 普通 0037025
トクテイヒエイリカソドウホウジンラサジャパン

クレジット決済はこちら



ホームページ
<http://rasa-japan.com>

